

アンモニア（可燃性・毒性ガス 無色・強い刺激臭）

分子式	NH ₃	分子量	17.0	容器の色	白色
用途	雰囲気ガス生成用、公害防止用（脱硫等）、冷媒用、アルカリエッチング用、肥料用原料等				
該当法規	高圧ガス保安法、消防法、毒物及び劇物取締法				
物理的性質	無色、強い刺激臭の毒性ガス 比重：0.60（空気より軽い） 爆発範囲：15～28% 着火温度：651 許容濃度：25ppm、18mg/m ³ 水によく溶ける。				
化学的性質	アンモニアそのものは比較的安定であるが、酸やハロゲンと極めてよく反応する。 ハロゲン、強酸類と接触すると爆発性化合物を生成する。銅、銅合金を腐食させるので材料の選択に注意する。 鉄、ニッケル等の触媒の元では約300℃で水素と窒素に分解する。 水に溶けるとアルカリ性を示す。（アンモニア水）				
注意事項	ガスが溜まり爆鳴気を形成し爆発の危険性があるため、風通しのよい場所で保管し、火気を近づけないこと。 ガスは毒性のため、適切な保護具を着用し吸入を避ける。 取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。 小型充填容器は、直射日光を避け、冷所で40℃以下に保ち、転倒、激突等が起こらないよう保管する。				

アンモニア（可燃性・毒性ガス 無色・強い刺激臭）			
事故時の措置			
消火方法	水、粉末消化剤、炭酸ガス	処理剤	スルファミン酸(中和剤)
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合は、周囲に火気のない通風のよい場所に移動する。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして火気を断つ。事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p> <p>119番（消防署）に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>ガスを止め、粉末消火器で消火するとともに、大量の水で容器を冷却する。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p>		
救急処置	<p>目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の処置を受ける。</p> <p>皮膚に付着した場合：汚染された衣服を直に取り除き、被害を受けた部分を多量の水で十分洗い流して、医師の処置を受ける。</p> <p>吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温、安静に務める。呼吸に障害がみられる場合には、酸素呼吸または人工呼吸を施し、速やかに医師の処置を受ける。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>高濃度のガスを吸入すると、咽喉が腫れ、肺水腫を起こす危険がある。また液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「毒性のアンモニアガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		